



文部科学省 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について



みよし市教育委員会としての基本的な考え方

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持・向上、教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るために行われました。また、文部科学省は本調査で測れるものは学力の一部であるとしており、地域・学校の序列化や点数を競うためのものではないとしています。各家庭には、市内小中学校の結果について概要をお知らせすることで、学校から配布される学校全体の結果と個票を見比べて、今後のお子様の学習への取組に生かしていただきたいと考えています。

なお、この内容はホームページに掲載しております。



状況をみるにあたって

全国学力・学習状況調査の対象であった市内小学校6年生と中学校3年生全体の状況を、教科に関する調査については、平均正答率について全国公立学校全体の状況との比較から、教科別・区別に次の3段階で示しています。

「よくできている」「おおむねできている」「努力を要する状況である」

それぞれの教科で、特に優れている内容と課題のある内容の一部を紹介します。

また、質問紙調査の結果については、回答の状況を全国公立学校全体の状況と比較して、特徴的な内容を紹介します。



小学校6年生について

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p>全体的におおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字やローマ字を読むことがよくできている。 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読むことがよくできている。 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することに課題がある。 	<p>全体的におおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、本や文章を選んで読んだり、比べて読んだりすることができている。 目的や意図に応じて、表やグラフを基に自分の考えを書いたり、分かったことを的確に書いたりすることに課題がある。
算数	<p>全体的におおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 小数の除法の計算をしたり、その確かめの方法を理解したりすること、不等号の意味を理解することなどがよくできている。 1を超える割合を百分率で表すときの基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。 	<p>全体的におおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 正方形の一辺の長さを変えるなど、示された条件を基に検討し、同じきまりが成り立つかを調べることがよくできている。 示された式の中の数値の意味を解釈したり、示された式と関連のある図形を基に、式の意味を理解したりして、数学的に表現することに課題がある。



中学3年生について

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p>全体的によくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味を理解して文脈の中で適切に使ったり、文脈に即して漢字を読み書きしたりすることなどがよくできている。 ・ 2種類の熟語で使われている同じ漢字が表している意味の違いを理解することや文章を読み返し、文の内容の違いに注目して推敲することに課題がある。 	<p>全体的によくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて必要な情報を読み取ることや文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨をとらえることなどがよくできている。 ・ 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。
数学	<p>全体的によくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「正の数と負の数」や「整式の加法と減法」などの計算が特によくできる。 ・ 反比例のグラフの形状について理解して、xとyの関係を式に表したり、一次関数のグラフからxの変域に対応するyの変域を求めたりすることに課題がある。 	<p>全体的によくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数学的に処理することなどがよくできている。 ・ 図形の証明問題やグラフの傾きを事象に即して解釈することに課題がある。



児童生徒質問紙調査について

- ・ 自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合が全国より高く、昨年の小6、中3よりも増えた。
- ・ 将来の夢や目標をもっていると答えた児童生徒の割合が、昨年の小6、中3よりも増えた。
- ・ 地域の行事に参加している児童生徒や地域のボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合が全国より高い。
- ・ 長時間テレビ等を視聴したり、ゲームやインターネット等をしたりする児童生徒が減る傾向にある。
- ・ 学校の宿題をする児童生徒の割合が高い。反面、依然として自分で計画を立てて家庭学習をする児童生徒の割合が全国に比べ低い。
- ・ 学校のきまり（規則）を守っていると回答した児童生徒の割合は高い。しかし、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」のうち、「当てはまる」と回答した中学生の割合は全国より低い。
- ・ 朝食を毎日食べる児童生徒は多いが、毎日、同じくらいの時刻に寝たり起きたりする中学生の割合が全国と比べて低い。
- ・ 読書が好きと回答した児童生徒の割合が、昨年度の小6、中3より高く、全国よりも高い。反面、国語の勉強への関心・意欲に課題がある。
- ・ 総合的な学習の時間の勉強がすきと回答した児童生徒の割合や数学の勉強が好きと回答した中学生の割合が全国より高い。



結果を活用した市の対策について

本調査の結果は、今後、市教育委員会及び各小・中学校で、調査結果を詳細に分析し、課題を解消するための教育行政の見直しや授業方法及び学校運営の改善に役立てます。

- 各校の結果については、別添の文書のとおりです。
- このことに関するお問い合わせは、下記へお願いします。

【お問い合わせ先】 みよし市教育委員会 学校教育課 電話:32-8026